

第3次広島県がん対策推進計画における指標の中間見直しについて

見直しを要する指標及び新たな指標（案）は次のとおり。

1 がんの予防・がん検診分野<項目>たばこ対策の強化

現在の指標・目標		新たな指標・目標（案）	
指標	目標	指標	目標
禁煙・分煙実施の県・市町の施設の割合	100%	第一種施設（学校・児童福祉施設） ※条例による上乗せ規制	100%
飲食店等における喫煙の可否等の表示の実施率	100%	第一種施設（病院・行政機関の庁舎・大学）	100%
		第二種施設（公民館等）	100%

【見直し理由】

健康増進法及び広島県がん対策推進条例の改正により、規制内容が変わったため。

※広島県がん対策推進条例による上乗せ規制（令和2年4月1日施行）

子供が主たる利用者である学校（幼稚園，小学校，中学校，高等学校等）及び児童福祉施設等での屋外の喫煙場所の設置を不可とし、敷地内完全禁煙としている。

2 がん医療分野<項目>治療と仕事の両立支援

現在の指標・目標		新たな指標・目標（案）	
指標	目標	指標	目標
がんゲノム医療の拠点整備	1施設以上の国指定	がんゲノム医療の拠点整備	現状より増

【見直し理由】

がんゲノム診療連携拠点病院等は現在6施設あり、目標を達成したため、更なる増を目指す。

現在の指標・目標		新たな指標・目標（案）	
指標	目標	指標	目標
拠点病院におけるがんボード実施回数（2ヶ月）	現状より増	拠点病院におけるがんボード実施回数	現状より増

【見直し理由】

出典元であるがん診療連携拠点病院現況報告書の様式が変更され、報告対象期間が2ヶ月から1年間となったため。

現在の指標・目標		新たな指標・目標（案）	
指標	目標	指標	目標
拠点病院の地域連携パスの適用患者数（2ヶ月）	現状より増	拠点病院の地域連携パスの適用延べ患者数	現状より増

【見直し理由】

計画策定時においては、県が作成した地域連携パス「わたしの手帳」のうち、5大がんの適用患者数について集計していたが、近年では各医療圏や各拠点病院の実情に応じた独自のパスも普及しており、「わたしの手帳」に限らず適用患者数を把握する必要があるため。

3 がんとの共生分野<項目>治療と仕事の両立支援

現在の指標・目標

指標	目標
療養・就労両立支援指導料の算定件数	現状より増
療養・就労両立支援相談体制充実加算を算定している拠点病院数	現状より増

新たな指標・目標 (案)

指標	目標
療養・就労両立支援指導料の算定件数 <u>(がん)</u>	現状より増
療養・就労両立支援 <u>相談支援加算</u> を算定している拠点病院数	現状より増



【見直し理由】

診療報酬の改定により、対象疾病範囲の変更や、加算の改廃があったため。

現在の指標・目標

指標	目標
就労支援体制の診断指標を活用する企業数等	現状より増

新たな指標・目標 (案)

指標	目標
<u>削除</u>	



【見直し理由】

県で診断指標を作成し、「Team がん対策ひろしま登録企業」を中心として、指標を活用する企業数をカウントする予定であったが、平成 29 年度末に国が診断指標を作成・公表したため、結果として指標を活用する企業数のカウントが困難となった。